

17

第17期 事業報告書

2019年4月1日▶2020年3月31日

INVESTOR RELATIONS

# DELICA REPORT

[デリカレポート]



デリカフーズホールディングス株式会社

DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD.

東証1部 証券コード 3392

# Top Message.

代表取締役社長 大崎 善保



はじめに、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。当期も売上が順調に推移し、ここに事業報告をすることができましたのは、ひとえに株主の皆様のご理解ご支援の賜物と重ねて御礼を申し上げます。

青果物流通業界におきましては、2019年10月の消費税増税や各種社会保障費負担増への懸念等から消費者の節約志向は依然として根強く、かつ人手不足に伴う労働コストや物流コストの上昇、度重なる自然災害の影響、さらには新型コロナウイルスの感染拡大により急速に消費マインドが冷え込むなど、極めて厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは更なる提案営業の強化に加え、愛知・埼玉に新設した貯蔵センターの活用、エフエスロジスティクスによる幹線物流網の構築など、流通インフラを強化し、『安全・安心・安定供給』の実現を推し進めたことにより新規顧客の獲得及び

既存取引の深耕が順調に進展いたしました。

また、当連結会計年度を最終期とする中期経営計画『NextChange2020』の3つの重点課題におきましても順調な成果を残すことができました。まず『経営基盤の構築』におきましては、事業会社の統合により経営体制の刷新と事業の効率化、各種コストの低減を実現することができました。『成長基盤の構築』におきましては、新工場および新センターの増設に加え、M&Aによる北海道エリアへの進出、業務提携による競争力の強化を実現することができました。また、『研究開発部門の強化』におきましては、研究開発部門とコンサルティング部門の再編を行い、効果的な研究開発と機能的なコンサル業務の基盤を構築することができました。

これら経営施策や事業努力により、第3四半期連結累計期間までの売上高・各利益はともに順調に推移することができました。しかしながら1月以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当社の主要取引先である外食企業・中食企業において休業や時間短縮営業等が実施されたこと等により、当社グループの売上高が大幅に減少いたしました。

その結果、当連結会計年度における売上高は40,413百万円(前期比2.4%増)となり、利益につきましては、営業利益571百万円(前期比16.6%減)、経常利益641百万円(前期比15.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は360百万円(前期比21.5%減)となりました。

当社グループの経営ポリシーは『農と健康を繋ぐ創造企業』の実現であり、事業モデルそのものが、農業支援・環境保全・健康増進に寄与するものだと確信しております。また、地球温暖化やそれに伴うCO<sub>2</sub>削減問題に対しても、農業は酸素の製造業との視点から、野菜の消費拡大による農業の発展は地球環境の改善に貢献できる事業であると、信念をもって取り組んでおります。更にはフードロスの削減、フードマイレージの最適化など、環境に配慮したビジネス展開をより一層進め、サステナビリティの考え方を重視したバランス経営を実践して参りたいと思います。今後ともグループ一丸となり『農と健康を繋ぐデリカフーズグループ』として邁進して参りますので、株主の皆様におかれましては、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 業績の概況

売上高は10期連続過去最高を計上。  
新型コロナウイルス感染症による影響で、利益は前期比減となりました。

### 当連結会計年度の業績

売上高	40,413百万円 (前期比2.4%増)
営業利益	571百万円 (前期比16.6%減)
経常利益	641百万円 (前期比15.7%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	360百万円 (前期比21.5%減)
1株当たり当期純利益	24.46円
総資産利益率 (ROA)	1.73%
株主資本利益率 (ROE)	4.60%

### 取締役のご紹介

#### 取締役 (未来開発最高役員)



にわ ますみ  
丹羽 真清  
デザイナーフーズ株式会社  
代表取締役社長 兼任

#### 取締役



こばやし けんじ  
小林 憲司  
デリカフーズ株式会社  
取締役社長 兼任

#### 社外取締役



おざき ひろゆき  
尾崎 弘之

#### 社外取締役



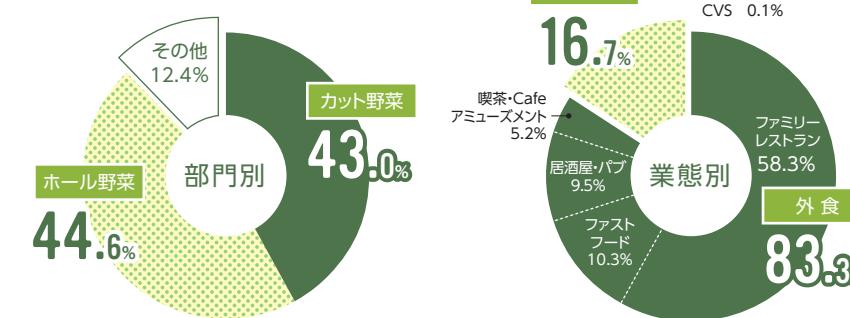
しばた みすず  
柴田 美鈴

#### 取締役会長



たちもと いさたけ  
館本 勲武

### 販売構成比



加工していない野菜そのものをホール野菜、お客様のご要望に合わせて加工されたものをカット野菜といいます。また、第三の基軸商品として展開している真空加熱野菜もカット野菜に分類されます。

外食・中食と大きく分けて2つの業態があり、全体の8割以上が外食業界に向けた売上となっております。

※ファミリーレストランには、イタリア料理、中華料理、和食等の業態も含まれております。

# 1979 DELICA FOODS 40年の軌跡

デリカフーズグループは、2019年に創業40周年を迎えました。  
ここでは、創業から現在にいたるまでの成長の軌跡を、当時の写真やデータとともにご紹介いたします。

● 1979 ● 1994 ● 2003 ● 2010 ● 2014 ● 2016 ● 2018 ● 2019

**デリカフーズ株式会社創業**  
創業者 館本 勲武が愛知県名古屋市中区に設立。「日本農業の発展」と「国民の健康増進」のため、1gでも多く野菜を食べて欲しいとの想いで事業を始めた。



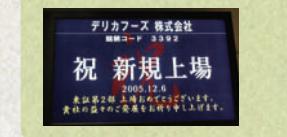
館本 勲武

- 1984** ▶ 東京都足立区梅島に**東京デリカフーズ**新設
- 1986** ▶ デリカフーズ(株)が大阪府茨木市島に大阪支店開設
- 1990** ▶ デリカフーズ(株)大阪支店を茨木市沢良宜東町に移転し、**大阪デリカフーズ**として法人成り
- 1993** ▶ 東京デリカフーズ(株)、東京都足立区保木間に東京物流センター(保木間センター)開設

- ▶ 大阪デリカフーズ(株)、兵庫県明石市に神戸事業所開設
- 1996** ▶ **青果物生理研究所(現株メディカル青果物研究所)**を設立
- 1997** ▶ デリカフーズ(株)を名古屋デリカフーズ(株)に商号変更、名古屋市中川区にかの里工場開設
- ▶ 福島県伊達市に福島工場開設
- 2002** ▶ 東京デリカフーズ(株)、大和市に横浜工場開設(現デリカフーズ(株)神奈川事業所)
- ▶ 名古屋デリカフーズ(株)、愛知県海部郡十四山村(現弥富市)に子宝工場開設(現デリカフーズ(株)愛知事業所)
- ▶ 大阪デリカフーズ(株)、茨木市宮島に本店移転(現デリカフーズ(株)大阪事業所)



- ▶ 東京都足立区保木間に**デリカフーズ(株)(持株会社、現デリカフーズホールディングス(株))**設立  
初代社長に館本 勲武が就任
- 2004** ▶ **デザイナーフーズ(株)を完全子会社化**
- 2005** ▶ デリカフーズ(株)、東京証券取引所市場第二部に株式を上場
- 2007** ▶ 大阪デリカフーズ(株)、神戸事業所を兵庫県加古郡に移転、兵庫工場を開設(その後子宝工場に移築)



- ▶ 東京デリカフーズ(株)、足立区六町に東京FSセンター開設。同地に本店移転
- 2010** ▶ **東京FSセンター**
- ▶ デザイナーフーズ(株)、東京都港区にアンテナショップ「ベジマルシェ」を開設
- 2012** ▶ デリカフーズ(株)・(株)メディカル青果物研究所、足立区六町に本店移転
- ▶ 東京デリカフーズ(株)九州事業所を開設
- ▶ 初の中期経営計画「THE SECOND FOUNDING STAGE 2017」を公表
- 2013** ▶ **デリカフーズ(株)第二代社長に丹羽真清が就任**、館本 勲武は会長職に
- ▶ デリカフーズ(株)、初めて株主優待制度の導入を公表



- ▶ 東京デリカフーズ(株)仙台事業所を開設
- ▶ 物流子会社**エフエスロジスティクス(株)**設立
- ▶ 「ベジマルシェ」、役割を終え閉店

デリカフーズ(株)、東京証券取引所市場第一部銘柄に指定

- 2015** ▶ 大阪デリカフーズ(株)奈良FSセンターを開設

グラフで見るDELICA

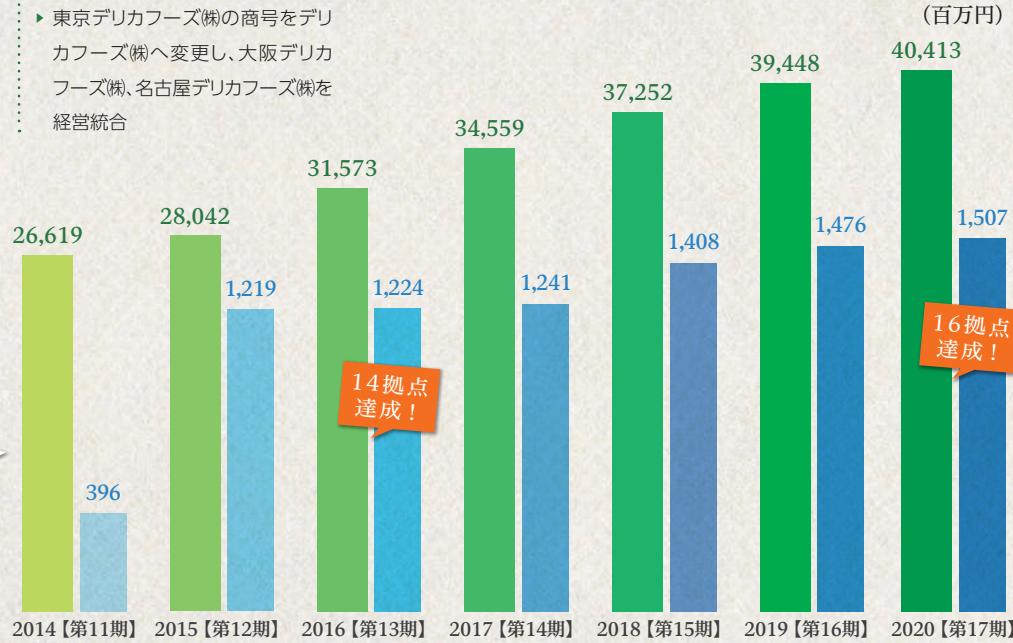
近年の売上・EBITDAの伸び率を振り返ります。

■ 売上 ■ EBITDA(償却前営業利益)

- ▶ 東京デリカフーズ(株)西東京FSセンターを開設
- 2017** ▶ **デリカフーズ(株)、第三代社長に大崎 善保が就任**、中期経営計画「NEXT CHANGE 2020」を公表
- ▶ **デリカフーズ(株)の商号をデリカフーズホールディングス(株)へ変更**
- ▶ 東京デリカフーズ(株)の商号をデリカフーズ(株)へ変更し、大阪デリカフーズ(株)、名古屋デリカフーズ(株)を経営統合

▶ デリカフーズ(株)愛知事業所中京FSセンターを開設

中京FSセンター



DELICA's FUTURE

デリカフーズの役割

デリカフーズグループは「農と健康を繋ぐ創造企業」として、**①外食・中食産業の更なる価値創造へ貢献** **②青果物の流通を通じ、農業の発展と人々の健康な生活づくりに貢献** **③サステナビリティ(持続可能性)に配慮した社会貢献**の3点を意識し、社会的価値創造を進めております。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs達成に向けた取り組み

デリカフーズグループでは、農と健康を繋ぐ創造企業として、サステナビリティの考え方を重視したバランス経営を実践してまいります。カット野菜の生産に規格外野菜を利用することでフードロスを低減し、野菜屑を堆肥・飼料化するリサイクル・ループを構築することで、SDGsに貢献してまいります。

# 2020 DELICA FOODS グループ 新人事



DELICA FOODS

たいなか としゆき  
田井中 俊行

デリカフーズ株式会社 常務取締役  
デリカフーズ北海道株式会社 代表取締役社長

## さまざまな拠点での経験を活かし 人材育成と新会社の規模拡大に励む

外食産業の成長期であった1987年に、大卒採用の1期生として入社いたしました。入社してから1年間は愛知事業所でカット野菜の製造に従事し、その後、東京事業所や福島工場、仙台事業所などさまざまな拠点で、業務に励んでまいりました。デリカフーズグループには、若くて有望な社員が大勢おります。今後は自らの経験を活かして、彼らが活躍できる事業を開拓し、どのような困難な局面が訪れても対応していける会社を構築してまいります。

### Profile

1987年、デリカフーズ(株)に入社。デリカフーズホールディングス(株)経営企画室 室長や、デリカフーズ(株)神奈川事業所 所長などを歴任、2020年4月にデリカフーズ(株)常務取締役、デリカフーズ北海道(株)代表取締役社長に就任。



DELICA FOODS

さわだ きよはる  
澤田 清春

デリカフーズ株式会社 常務取締役

## グループとの連携を図り 西日本エリアの発展に尽力する

入社後に配属されたカット野菜工場は、野菜に関する多くの知識や経験を積むことができ、今もなお、その経験が体の中に備わっていると感じます。その後、コンピュータシステム構築や二部上場、福島工場の産地開発、九州事業所と西東京事業所の立ち上げなどを経験させていただき、多くの知識と経験を得ることができました。今後は、デリカフーズ(株)常務取締役として、西日本の各事業所と連携し、西日本エリアの相互発展に尽力してまいります。

### Profile

1988年、デリカフーズ(株)に入社。2004年にデザイナーフーズ(株)取締役に就任。デリカフーズホールディングス(株)取締役や(株)メディカル青果物研究所取締役を経て、2020年4月にデリカフーズ(株)常務取締役に就任。



DELICA FOODS

こばやし かつみ  
小林 勝巳

デリカフーズ株式会社 取締役

## 生産と消費をつなぐ立場として より社会から必要とされる企業へ

入社以降、現場でのセンター運営に長く従事してまいりました。デリカフーズ(株)取締役就任後も、センター責任者は兼任いたします。取締役としての業務を中心に据えながら、後継者の育成にも力を入れたいと考えております。企業の発展には、社会から必要とされることが不可欠です。生産から消費をつなぐプラットフォームとして、どのように立ち位置を獲得し利益活動につなげるかを考えながら、指揮を執ってまいります。

### Profile

2000年、デリカフーズ(株)に入社。2014年にデリカフーズ(株)東京事業所 出荷部長に就任。その後、デリカフーズ(株)出荷管理本部 執行役員 統括本部長を経て、2020年4月に、デリカフーズ(株)取締役に就任。

2020年3月26日の臨時取締役会にて、役員の異動を決議いたしました。  
また、同日の臨時株主総会にて、異動に伴う新たな役員を選任いたしました。



designerfoods

いちの まりこ  
市野 真理子

デザイナーフーズ株式会社 代表取締役社長

## 関心が高まる「食と健康」 積極的な啓蒙活動で企業価値を向上

デザイナーフーズ(株)設立時から、前任の丹羽(現・デザイナーフーズ(株)顧問)とともに「食と健康」に関するコンサルティング業務を行ってまいりました。20年前と比べると、「食と健康」に関する講演やセミナーの依頼は非常に増えており、今後ますます関心が高まるテーマだと思われる。デザイナーフーズ(株)代表取締役社長就任後は、企業はもちろん、一般の方への啓蒙活動も積極的に行い、企業としての価値を高めてまいります。

### Profile

1999年、デザイナーフーズ(株)設立に尽力。2005年に、同社取締役に就任。(株)メディカル青果物研究所代表取締役社長を経て、2020年4月に、デザイナーフーズ(株)代表取締役社長に就任。



## PICK UP 丹羽 真清

### デザイナーフーズ株式会社 顧問就任

長年にわたり、「野菜の中身」の研究に従事  
セミナーや講演会を開催し、野菜の価値向上に貢献

デザイナーフーズ(株)を創業してから長年にわたり、青果物の研究と「食と健康」のコンサルティングに携わっております。研究の分野では、「野菜の中身」を切り口に大学や公的機関とプロジェクトを組み、農業と食と健康に関する研究を行ってまいりました。その研究結果をもとにセミナーや講演会を行い、野菜の分析研究と、時代に合った食と健康の捉え方の普及に尽力いたしました。今後も、デザイナーフーズ(株)顧問として、行政機関や業界団体をはじめ、農業生産者、流通・小売り、消費者へ向けて情報を発信し、業界の発展に貢献してまいります。



### 丹羽真清 経歴

- 1999  
デザイナーフーズ(株) 代表取締役社長 就任
- 2004  
デリカフーズホールディングス(株) 取締役 就任
- 2007  
デリカフーズホールディングス(株) 常務取締役 就任
- 2010  
(株)メディカル青果物研究所 取締役 就任
- 2011  
デリカフーズホールディングス(株) 専務取締役 就任
- 2013  
デリカフーズホールディングス(株) 代表取締役社長 就任
- 2017  
デリカフーズホールディングス(株) 取締役未来開発最高役員 就任
- 2020  
デザイナーフーズ(株) 顧問 就任

# DELICA FOODS TIMES



## 新型コロナウイルスへの対応

デリカフーズグループでは、国内における新型コロナウイルス感染拡大の顕在化前の1月下旬の段階で、対策に関する基本方針を策定し、以下の取り組みを徹底しております。\*

### ■ デリカフーズグループ基本方針

**感染防止**    **事業継続**    **従業員は最後まで大切にする**

## グループの取り組み

### 体調不良者への対応

迅速に当社健康管理室へ情報を集約し、保健師が自宅待機や医療機関受診の対応を指示しております。

### 日常生活での対策

手洗い、うがい、アルコール消毒、咳エチケットの徹底、人混みの回避、栄養のある食事の摂取、十分な睡眠を心掛けております。

### 製造・出荷作業

カット野菜の製造・出荷に携わる作業者は、マスク、手袋、帽子（ネットキャップ）を着用。また出勤時の体調確認と記録を義務付けております。

### 海外渡航の禁止

臨時雇用従業員を含む全従業員へ、海外への渡航は原則禁止としております。

### TV会議の活用

事業所を跨ぐ会議は極力往來を回避しTV会議にて実施、また業務に支障をきたさない範囲での時差出勤やテレワークも実施しております。

### 消毒・換気

スイッチ、ドアノブ等の定期的（1時間毎を目途）な消毒を実施しております。また、共用スペースは、定期的な換気を行っております。

### 外来者の方への対応

外来者の方々には、体調問診と同時に、入り口と入室時にアルコール消毒並びに氏名・連絡先等の記載をお願いしております。

### ■ コロナ禍後の取り組みについて

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、世界規模で拡大し、経済的にも大きな影響を及ぼしております。当社グループもその影響を受け2020年3月以降売上が減少しており、まずは売上の回復が急務であると認識しております。そのための施策として「既存取引先への深耕営業」や当社の強みである研究開発の成果を活かした「量販店等小売業態への提案営業の強化」を実

施し、さらにコロナ禍後を見据え「消費者への直接販売BtoCへの販路開拓」等を実施・検討してまいります。

また需給状況に応じ、物流の再編等、コスト削減施策についても並行して実施し、「農と健康を繋ぐデリカフーズグループ」として再び邁進したいと考えております。

※上記対策は2020年3月末日時点のものを記載しております

## 福岡FSセンター業務開始



**概要**    **住所** 福岡県宗像市    **オープン** 2020年4月  
**要設**    **床面積** 4,094㎡    **投資額** 約23億円

## 九州地区の新たな生産物流拠点

2020年4月9日に、福岡FSセンターでの業務を開始いたしました。デリカフーズグループでは中期経営計画「Next Change 2020」に基づき、成長基盤の構築を目的とした直営拠点の開設を進めてまいりました。九州地区においては、2011年10月に、同エリアの物流拠点として九州事業所を開設し、順調に売上を伸ばしております。新工場である福岡FSセンターでは、グループで培ってきた技術やノウハウを活かし、九州エリアでの事業拡大を図るとともに、今まで以上に高品質で安全・安心な商品の提供を目指してまいります。

## 福岡FSセンターの特徴

### リサイクルルーム



生ゴミを乾燥・発酵させ、堆肥化する設備です。生成した堆肥を契約農家様に提供し、その堆肥を利用した野菜を購入することで、リサイクル・ループを構築いたします。

### 下処理室



野菜の皮などの不可食部や異物などを取り除くための部屋です。高い精度で異物除去が可能な「カラーソーター」をグループで初めて導入し、カット野菜の安全性向上に努めております。

### 計量室



福岡FSセンターは、少量多品種生産と大量生産の2つの機能を持つ工場です。そのため、瞬時に最適な計量が可能な最新設備を導入し、生産の効率化を図っております。

### ■ 竣工日に宗像大社の参拝を行いました

竣工日である2020年4月9日に、今後の安全な稼働と、業務の発展を願い、宗像大社に参拝いたしました。宗像大社とは、天照大神の三女神が祀られている沖津宮、中津宮、辺津宮の三宮の総称であり、日本神話に登場する日本最古の神社の1つです。2017年には世界遺産に登録され、国の重要文化財や国宝が数多く保存されております。由緒正しいこの大社に見守られながら、安全な工場運営に努めてまいります。



宗像大社 〒811-3505 福岡県宗像市田島2331 TEL 0940-62-1311 (代表)

## EVENT | (株)メディカル青果物研究所

## オーガニック・エコフェスタ2020で「栄養価コンテスト」の分析を担当

2020年2月23日に「オーガニック・エコフェスタ2020 有機農業技術会議」が開催されました。イベント内で行われた「栄養価コンテスト」では、今年も(株)メディカル青果物研究所が分析を担当。分析データをもとに、合計35品目において最優秀賞と優秀賞が決定されました。また、パネルディスカッションにも、同社研究開発室長が参加し、活発な意見交換を行いました。



## NEWS | (株)メディカル青果物研究所

## 専門書籍で、研究データが紹介されました

デリカフーズグループでは、野菜の機能性を中心にさまざまな研究を行っております。2020年4月7日に、誠文堂新光社から発行された『機能性野菜の教科書』では、当社グループの研究データが紹介されました。本書は、健康に関与する野菜の成分や、機能性を高める生産方法、機能性野菜を使ったレシピなどの内容が盛り込まれており、まさに教科書というべき1冊です。農業生産者や食品関係者だけでなく、食への意識の高い消費者の方にもお読みいただきたいと考えております。

4月7日発売!



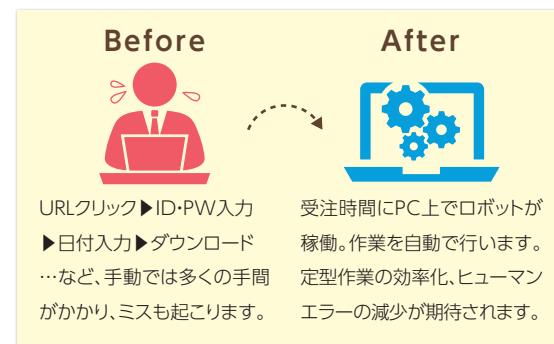
## 機能性野菜の教科書

野菜の栄養素と健康効果・品種・栽培方法・レシピ  
 編者: 中野 明正  
 著者: 渡辺 和彦、小川 敦史、尾形 和磨、岸村 康代、タキイ種苗株式会社、有井 雅幸(デリカフーズ(株)品質管理室長)、武井 安由知(株)メディカル青果物研究所 研究開発室長)

## NEWS | デリカフーズ(株)

## 受注作業を効率化するシステムを導入

デリカフーズグループでは、受注作業の効率化の取り組みとして、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を導入いたしました。これまで手で行っていたデータ入力や情報登録を、AIが自動で行うことによって、人員の削減や作業時間の短縮など、さまざまなメリットを生み出しています。今後は活用範囲を広げ、さらなる業務効率化を目指してまいります。



## CHECK



## TV会議での入社式を実施

2020年4月1日に、デリカフーズグループ合同入社式を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響で、初めてのTV会議形式での実施となりましたが、無事に式典と研修を終えることができました。新入社員はグループ合計で70名。今期も社員一丸となって、新たな取り組みを進めてまいります。

## EVENT | デリカフーズホールディングス(株)

## イノベーションチャレンジ発表会を開催

2020年3月12日に、新社内制度イノベーションチャレンジの発表会を開催いたしました。部署ごとの改善や改革の取り組みを、省人化(作業効率化)部門、環境改善部門、アイデア部門の3部門で発表し、その中から最優秀賞を決定する社内イベントです。今年も、デリカフーズ(株)東京事業所 経理課チームが受賞いたしました。今後も、社員全員で改善活動を行い、より良い環境を構築してまいります。





連結貸借対照表 (要旨)

単位: 千円

資産の部	第16期	第17期
	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,195,540	4,276,968
売掛金	4,798,529	3,638,084
商品及び製品	140,729	160,999
仕掛品	12,583	10,437
原材料及び貯蔵品	50,054	60,485
その他	114,695	229,057
貸倒引当金	△1,819	△2,948
<b>流動資産合計</b>	<b>8,310,312</b>	<b>8,373,083</b>
<b>固定資産①</b>		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	5,005,298	6,463,057
土地	3,475,957	3,639,663
その他 (純額)	1,698,641	2,198,447
有形固定資産合計	10,179,897	12,301,168
無形固定資産		
その他	77,861	67,356
無形固定資産合計	77,861	67,356
投資その他の資産		
投資有価証券	548,588	416,998
繰延税金資産	77,099	121,738
その他	618,141	594,599
貸倒引当金	△4,695	△1,519
投資その他の資産合計	1,239,134	1,131,816
<b>固定資産合計</b>	<b>11,496,893</b>	<b>13,500,342</b>
<b>資産合計</b>	<b>19,807,206</b>	<b>21,873,425</b>

	第16期	第17期
1株当たり当期純利益 (円)	31.18	24.46
1株当たり純資産 (円)	532.14	543.80
自己資本 (千円)	7,847,441	8,023,027
自己資本比率 (%)	39.6	36.7

※当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び、1株あたり純資産を算定しております。

単位: 千円

負債の部	第16期	第17期
	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>流動負債②</b>		
買掛金	2,112,651	1,632,816
短期借入金	260,000	260,000
1年内返済予定の長期借入金	992,092	1,071,141
未払法人税等	107,260	113,330
未払金	1,315,010	1,424,905
その他	359,398	322,822
<b>流動負債合計</b>	<b>5,146,414</b>	<b>4,825,017</b>
<b>固定負債③</b>		
長期借入金	6,118,210	8,303,440
その他	695,140	721,939
<b>固定負債合計</b>	<b>6,813,350</b>	<b>9,025,380</b>
<b>負債合計</b>	<b>11,959,764</b>	<b>13,850,397</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,377,113	1,377,113
資本剰余金	2,164,228	2,167,666
利益剰余金	4,205,155	4,447,991
自己株式	△28,494	△27,025
<b>株主資本合計</b>	<b>7,718,003</b>	<b>7,965,745</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	136,245	51,866
退職給付に係る調整累計額	△6,806	5,415
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>129,438</b>	<b>57,281</b>
<b>純資産合計</b>	<b>7,847,441</b>	<b>8,023,027</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>19,807,206</b>	<b>21,873,425</b>

1 固定資産

固定資産は、前連結会計年度末に比べ17.4%増加し、13,500百万円となりました。これは、主として、建物及び構築物が1,457百万円、機械装置及び運搬具が574百万円、土地が163百万円増加した一方、投資有価証券が131百万円減少したことなどによりです。



連結損益計算書 (要旨)

単位: 千円

	第16期	第17期
	前連結会計年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>39,448,215</b>	<b>40,413,389</b>
<b>売上原価</b>	<b>30,230,341</b>	<b>31,137,621</b>
<b>売上総利益</b>	<b>9,217,873</b>	<b>9,275,768</b>
販売費及び一般管理費	8,532,108	8,704,090
<b>営業利益</b>	<b>685,765</b>	<b>571,677</b>
営業外収益	107,839	101,820
営業外費用	32,446	31,850
<b>経常利益</b>	<b>761,158</b>	<b>641,647</b>
特別利益	2,922	526,945
特別損失	68,257	546,072
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>695,824</b>	<b>622,520</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>236,120</b>	<b>261,708</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>459,703</b>	<b>360,811</b>



連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

単位: 千円

	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	退職給付に 係る調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	1,377,113	2,164,228	4,205,155	△28,494	7,718,003	136,245	△6,806	129,438	7,847,441
当期変動額									
<b>剰余金の配当</b>			△117,975		△117,975				△117,975
親会社株主に帰属する 当期純利益			360,811		360,811				360,811
<b>自己株式の取得</b>				△36	△36				△36
<b>自己株式の処分</b>				1,505	1,505				1,505
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△84,378	12,221	△72,156	△72,156
当期変動額合計	—	3,437	242,835	1,468	247,742	△84,378	12,221	△72,156	175,585
当期末残高	1,377,113	2,167,666	4,447,991	△27,025	7,965,745	51,866	5,415	57,281	8,023,027

2 流動負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ6.2%減少し、4,825百万円となりました。これは、主として、未払金が109百万円、一年以内返済長期借入金が79百万円増加した一方、買掛金が479百万円減少したことなどによりです。

3 固定負債

固定負債は、前連結会計年度末に比べ32.5%増加し、9,025百万円となりました。これは、主として、長期借入金が2,185百万円増加したことなどによりです。

青果物の新たな価値を創造し、  
「野菜の生産者」と「食の提供者」をつなぐ**青果物専門商社**



野菜の  
生産者

デリカフーズグループは「業務用の八百屋」として、  
外食・中食産業を中心に、  
安心・安全な野菜を日本全国にお届けしています。

食の  
提供者



加工

**デリカフーズ(株)**



全国から調達した野菜を加工し、鮮度を保ったまま  
国内約28,000店舗にお届け。高いカット技術・パッ  
ケージ技術を持つ加工工場は、食品安全に  
も細心の注意を払っています。

物流

**エフエスロジスティクス(株)**

スーパーコールドチェーン  
を実現するために、全国に  
広がるチルド配送網を活  
かして毎日新鮮な野菜  
をお届けしています。



研究開発・  
コンサルティング

**デザイナーフーズ(株)**  
**(株)メディカル青果物研究所**

野菜の中身分析や機能性研究を実施していま  
す。研究結果を活かして、メニュー提案やコンサ  
ルティング業務も行いなが  
ら、野菜の新たな価値創  
造に取り組んでいます。



産地  
レポート  
vol.14

デリカフーズに野菜を納入していただいている  
生産者のみなさんをご紹介します。  
**株式会社 ベジタブルズ金剛**  
【熊本県】

八代市北平和町



デリカフーズとは2008年に取引を開始しました。1年  
を通して安定的にご発注いただけるので、計画的に野菜  
を栽培することができます。

「また、送ってください!」をやりがいに、高品質な野菜づくりを心がける

1年を通して暖かい気候が特徴的な、熊本県八代市北平  
和町。株式会社ベジタブルズ金剛は、一級河川である球磨  
川の河口付近にあるこの町で、農業を行っています。もと  
もとはい草農家でした。しかし、砂地で肥沃な土地が露地  
栽培に適していると感じ、2000年にレタス類、キャベツ、と  
うもろこしの栽培を始めました。

野菜づくりのモットーは「自分が買いたいレタスをつく  
る」こと。生産者は一番身近な消費者でもあるという思い  
から、自分が買いたくないものは消費者も買わないと考  
えるようになりました。そのため、ハウスの利用や被覆による

霜よけを徹底し、高品質な野菜づくりを心がけています。  
また、近年は暖冬傾向にあるため、気候に合わせた品種選  
びを意識しています。さらに、既存品種以外の試験品種の  
栽培にも率先して取り組み、メーカーへの情報提供を行っ  
ています。

一番やりがいを感じる瞬間は、100日以上かけて育てた  
野菜を出荷し、お客様から「また、送ってください!」と言  
われるときです。今後は、さらに品質の高い野菜を提供し、お  
客様から安定的に評価を得られるよう努力を続けます。

## 会社概要

2020年3月31日現在

商号	デリカフーズホールディングス株式会社		
英文社名	DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD.		
設立	平成 15 年 4 月 1 日		
創業	昭和 54 年 10 月 6 日		
所在地	〒121-0073 東京都足立区六町四丁目 12 番 12 号		
資本金	1,377,113 千円		
従業員数 (連結)	536 名 (他、平均臨時雇用者数 1,583 名)		

## 役員

代表取締役社長	大崎 善保	社外取締役	尾崎 弘之
取締役(未来開発最高役員)	丹羽 真清	社外取締役	柴田 美鈴
取締役	小林 憲司	常勤監査役	野村 五郎
取締役会長	館本 勲武	社外監査役	森田 雅也
		社外監査役	三島 宏太

会計監査人 仰星監査法人

## 株式状況

2020年3月31日現在

発行済株式総数 14,872,000 株  
株主総数 11,856 名

### 大株主

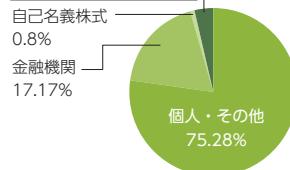
館本 篤志 2,038,400 株  
館本 勲武 1,899,100 株  
日本トラスティ・サービス  
信託銀行(株)(信託口) 1,441,600 株

日本マスタートラスト  
信託銀行(株)(信託口) 341,700 株

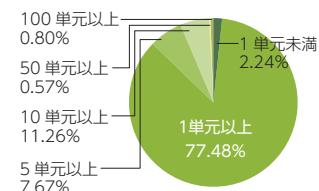
大崎 善保 241,800 株  
丹羽 真清 204,600 株  
野村 五郎 189,800 株  
株式会社グローバル 168,000 株  
岡本 高宏 166,300 株  
杉 和也 160,000 株

### 【株主分布状況】

金融商品取引業者 0.86%  
その他国内法人 3.89%  
外国法人等 2.01%



### 【所有株式数別分布状況】



## 株主メモ

事業年度	4 月 1 日～翌年 3 月 31 日
期末配当金受領株主確定日	3 月 31 日
中間配当金受領株主確定日	9 月 30 日
定時株主総会	毎年 6 月
株主名簿管理人	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
同連絡先	三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町 1-1 TEL.0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 株式会社東京証券取引所 (証券コード 3392) 電子公告により行う
上場証券取引所 公告の方法	電子公告により行う 公告掲載 URL <a href="https://www.delica.co.jp/">https://www.delica.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機構(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



## デリカフーズホールディングス株式会社 DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD.

〒121-0073 東京都足立区六町四丁目12番12号



IR最新情報は  
ホームページを  
ご覧ください。

デリカフーズ <https://www.delica.co.jp/>

【お問い合わせ】 TEL 03(3858)1037 FAX 03(5851)1056



UD FONT

FSC®認証材および管理原材料から作られています。

大豆油などをリサイクルして作られたベジタブルインクを使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。